

～ 人権・同和教育だより ～

「空に風 人に愛」

島根県立浜田高等学校

定時制・通信制課程

第8号 2021. 11. 30(火)



10月以降、いくつか気になるニュースがありました。ここで紹介しながら、関連のあることについて少し考えてみたいと思います。

＜「お母さん食堂」⇒「ファミマル」 ファミリーマートがPB統一＞

ファミリーマートは18日、「お母さん食堂」や「ファミリーマートコレクション」などのプライベートブランド(PB)の名称を、19日から「ファミマル」に統一するのを前に発表会を開いた。「お母さん食堂」の名称には「食事は母親が作るものという意識を植え付ける」という批判も出ていた。

ファミマルは、全国約1万6600店で順次展開する。これまで特定のブランド名を付けていなかったおにぎりやサンドイッチなども含む約810種類の商品が対象。

惣菜ブランド「お母さん食堂」を巡っては、有志の高校生らが名称変更を求めるオンライン署名活動を展開。これに対し、ネット交流サービス(SNS)では「言葉狩りだ」などとする声も上がっていた。同社の足立光マーケティング本部長は「ファミリーマートコレクションとお母さん食堂の刷新は以前から決まっており、署名活動自体は刷新の意思決定の要因になっていない」とした上で、「全ての性別、世代の皆さんに受け入れられるような名前やコンセプト、パッケージを含めて、十分な検討をした結果がファミマルになる」と述べた。

(2021.10.19 毎日新聞より)

「お母さん食堂」という名称について、みなさんはどのようにとらえるでしょうか。「食事は母親が作るものという意識を植え付ける」という考えから名称変更を求めて署名活動を展開したのが高校生だったと知り、時代は変わってきていると感じました。

私はもともと料理が好きでも得意でもなく、時間や気持ちにゆとりがないのに弁当を作るということができませんし、晩ごはんには冷凍食品や「おかずの素」を多用します。結婚後も弁当は作らないことが多く、周りの人たちから「弁当は作らないの?」「だんなさんがかわいそう」と言われることがよくありました。(「だんなさん」という言い方にも思うところはあります。)また、夕方残って仕事をしていると「早く家に帰って夕食の準備をしないと」「今日の晩ごはんのメニューは何?」と言われることもありました。「弁当を作る」「仕事から早く帰って食事の支度をする」「全てを手作りで料理する」そういうことができない私は家族思いではないダメな人間なのだ、というコンプレックスを感じていました。一方で、周りの人たちの言葉は「女性(妻・母)が食事を作るもの」と決めつけているように感じられて不快でした。私も夫も仕事をしており、勤務形態から言えば私よりも夫の方が家事をする時間はあります。人によってできることや大切にしたいことは異なるし、家庭によって家事の分担はそれぞれです。それなのに、なぜ私だけが頑張らなくてはいけないのかと思っていました。現在はそのように言われることもなくなりましたし、私自身もコンプレックスを感じる必要はないと思えるようになりました。

性別などの属性によって役割をあてはめることがあってはならないし、できること・できないこと、得意なこと・不得意なことによって、人の属性についての評価をすることがあってはならないと思います。

< ヤングケアラー …… 一人で悩まないで >

最近、新聞やテレビの報道で「ヤングケアラー」という言葉をよく耳にします。

一般社団法人日本ケアラー連盟が示している資料を基にここで紹介します。

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に変わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。

家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。

障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。

目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。

日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。

家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。

アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。

がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。

障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。

障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。



本人も家族も「あたりまえ」のこととしてとらえている場合が多く、顕在化しにくいようです。勉強時間を確保できない、進路変更せざるを得ない、通学ができない、精神的・肉体的な負担が重なって体調を崩すなど、様々な問題点があげられます。自覚がなく、人に相談するほどではないと思っている当事者が多いそうですが、自分について、また友だちや知人について、「ヤングケアラーかも」と思われる場合には、一人で抱えず、ぜひ身近な人や学校に相談してください。まずは「あなたは一人じゃない」と伝えたいです。

< 人権・同和教育講演会 案内 >

日時 12月7日(火) ①13:10~14:20 / ②14:55~16:05 / ③17:35~18:35

会場 多目的室

演題 「セクシャリティはジブンゴト」 講師 梅本 拓海 さん

※通信制の生徒は①の時間に参加しましょう。

(申込は不要です・バーコードシールを持ってきてください)

(人権・同和教育担当：岡崎)

